

令和8年第3回(9月)大郷町議会定例会一般質問通告書

目 録

1. 金須 新一 議員
 - 1) 防災道の駅を目指して
 - 2) 役場庁舎防犯体制の強化を
2. 赤間 則幸 議員
 - 1) 公約の6本の柱はどこへ
 - 2) 縁の郷の早期再開を
3. 佐々木 和夫 議員
 - 1) 公共施設工事について
 - 2) 本町における商業の活性化について
 - 3) 竹林対策について
4. 田中 三恵子 議員
 - 1) 指定避難所の整備について
 - 2) 道の駅の利便性向上と物販促進戦略について
5. 鎌田 暁史 議員
 - 1) 上下水道料金について
 - 2) ウォーターP P Pについて
 - 3) 町議会の解散請求署名について
6. 鈴木 恵子 議員
 - 1) 地域の環境整備について
 - 2) 学校給食無償化の公平性について
7. 熱海 文義 議員
 - 1) 旧櫻井邸の活用方法は
 - 2) かわまちづくり事業について
 - 3) スーパーマーケット誘致について
8. 鈴木 利博 議員
 - 1) デンワカードシステムの導入について
 - 2) 町長選挙公約について
 - 3) 旧大松沢小学校体育館の雨漏り

9. 高橋 重信 議員

- 1) スポーツX誘致に関する責任は

10. 鈴木 安則 議員

- 1) 本町の防災について
- 2) 前川地区の基盤整備再編入について伺う

11. 赤間 繁幸 議員

- 1) 本町の戦略人口について
- 2) ふるさと納税について

通 告 要 旨	備 考
1. 防災道の駅を目指して 本年6月定例会において、町長の一般質問のやり取りの中で、「道の駅おおさと」を将来的に防災道の駅にできないか、模索していると発言している。自分自身も本町にとって有益な取り組みであり、是非とも推進して頂きたいと考える。以下の点について伺う。 (1) 取り組みの現状について伺う。 (2) 国土交通省のホームページを確認すると、いくつかの基準をクリアしないと選定されないようである。既存の「道の駅おおさと」に不足している要件等を把握しているのか伺う。 (3) 令和3年6月に39、令和7年5月に40の道の駅が選定され現状79施設が防災道の駅として選定されている。選定を目指している時期について伺う。	一問一答方式
2. 役場庁舎防犯体制の強化を 本年5月13日深夜に税務課に設置してあるパソコン本体1台と周辺機器が盗難される事件が発生した。個人情報漏洩した可能性があり、住民の方々にご迷惑とご心配をおかけする事態になった。再発防止に向けて、庁舎の防犯体制を強化すべきと考える。以下の点について伺う。 (1) 現時点の防犯体制は、どのようになっているのか。また侵入された原因は特定されているのか伺う。 (2) 事件後、組織内で再発防止につながる検証等は実施したのか。今後、防犯体制を強化するために、新たな取り組み等は検討しているのか伺う。	

通 告 要 旨	備 考
1. 公約の6本の柱はどこへ 本年6月定例会での一般質問で、町民と約束した6本の柱が、本当に実現出来るのか伺ったが、その際に町長から9月定例会には1から2は出てくると思うのでよろしくとの発言があった。その後どのように進んでいるのか伺う。 (1) 町長が自ら考え、提案し、実行していく6本の柱は、いつになったら見えてくるのか、本当に実現させる気があるのか伺う。 (2) 町民が、待ち望むスーパーマーケット誘致の実現は本当に可能なのか伺う。	一問一答方式
2. 縁の郷の早期再開を (1) 縁の郷が閉館して2年になるが、いまだに再開館の目途が立っていないが、指定管理会社の募集はどうなっているのか、伺う。 (2) 町としてどのように、この施設を利活用し、維持していくのか町の考えを伺う。	

通 告 要 旨	備 考
1. 公共施設工事について 近年、物価高騰や人件費高騰により建設工事費が高騰していると思われるが、本町の所見を伺う。 (1) 競争入札参加者の資格を定める基準で、業者の等級があると思われるが、当町においてA等級は、何社あるのか伺う。 (2) 予定価格調査基準価格を設定して入札を行っていると思われるが、設定価格を下回った件数及び工事請負契約における設計変更に伴う工事件数及び金額は、どのくらいか伺う。 (3) 最低制限価格を設定していると思われるが、下回った場合の対応は、どのように行っているのか伺う。	一問一答方式
2. 本町における商業の活性化について スーパーマーケット等がないことにより、生活に不便を感じている町民が多くおり、この状況を早急に打開するため誘致活動を行っているが取組みについて所見を伺う。 (1) 誘致の進捗状況は、どうなっているのか伺う。 (2) 移動販売車を導入する考えがあるのか伺う。	
3. 竹林対策について 放置竹林が散見されるが、本町において防止策を行っているか所見を伺う。 (1) 竹を利用した商品開発を行う考えがあるのか伺う。 (2) 竹の粉碎機購入する考えがあるのか伺う。	

通 告 要 旨	備 考
1. 指定避難所の整備について (1) 令和7年9月定例会において小中学校やフラップ大郷 21 等の指定避難所の冷房設備について提案し、検討するという答弁だったが、その後の検討状況について伺う。 (2) 災害用備蓄水としてウォーターサーバーを活用したローリングストックの常設配置をしてはどうか。 (3) 自助、共助、公助による具体的な備えについて、チェックリストを作成することで見える化を図り、指定避難所における不足・課題を明確にしたうえで、対策を進めてはどうか。	一問一答方式
2. 道の駅の利便性向上と物販促進戦略について (1) 町民の需要の高い魚について、冷凍コーナーを設置してはどうか。 (2) 2階は、屋内遊び場としてのキッズコーナーや定期的なイベント開催などで利用者数も増えている。キッズコーナーには空調設備があるが、2階全体の空調設備の完備や衛生管理、下足箱の設置等により、より多くの方の利便性向上やクーリングシエルターとしての機能向上に繋がると考えるが、所見を伺う。 (3) 産直とイートインの販売促進戦略として 産直品は、大郷の名産品を紹介する特設コーナーを設け、地方発送もアピールする。 イートインでは大郷の牛や野菜を使った数量限定メニューを提供し、各テーブルに特売日やイベントなどを書いたイベントカレンダーを設置してリピーターを呼び込むなど、戦略的にアピールすることで、販売促進に繋がると考えるが、所見を伺う。	

通 告 要 旨	備 考
1. 上下水道料金について (1) 令和7年3月に策定された水道事業経営戦略によると、令和9年度に10%の料金改定を見込むとの記載がある。下水道事業も含めた料金改定について、どのような見通しなのか伺う。 (2) 本町の水道料金は、家庭用の口径13mmで1か月分の基本料金は税込で2,530円である。この金額は、県内の35市町村の中で8位と比較的高い水準となっている。高水準となっている要因についてどのように認識しているのか伺う。 (3) 物価高騰が続く中で、水道料金の引き上げは家計への影響が小さくはないと考える。内部留保の活用、一般財源からの繰入などで引き上げ分のカバーが可能か、見解を伺う。	一問一答方式
2. ウォーターPPPについて (1) 令和8年度の水道事業会計予算では「ウォーターPPP導入検討業務委託料」、下水道事業会計予算では「下水道ウォーターPPP導入検討業務」がそれぞれ計上されていた。各検討業務の進捗とウォーターPPPの導入についてどのような見通しなのか伺う。 (2) 本町で管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5）の事業を開始した場合、10年後に公共施設等運営事業（コンセッション、レベル4）に移行することになると思われる。町の見解について伺う。 (3) 県では令和4年度から、みやぎ型管理運営方式により、「みずむすびマネジメントみやぎ（以下、MMM）」に水道用水供給業務、工業用水道事業、流域下水道業務を委ねている（コンセッション、レベル4）。4年間の決算資料によると、コンセッションに移行後、県会計は72億円の減益、MMMは33億円の増益となっている。県民の利益がMMMに移行しており、県民のためになっているとは言えない。ウォーターPPPの推進については慎重に検討すべきと考えるが、町の見解を伺う。	

3. 町議会の解散請求署名について

- (1) 第5回町議会解散請求に関する調査特別委員会で報告のあった文書で、令和7年6月21日以降の委員会会議中に、一委員に対して秘密保持に関して威圧的な言葉で対応した事実はないと回答している。私は該当の委員から当時の状況について話を伺っているが、主張の相違がみられる。回答の作成にあたり、会議録の確認や委員会参加者への聞き取りは行ったのか伺う。
- (2) 再発防止のためには、署名簿様式の見直し、署名に関するルール説明の強化、直接請求に係る請求者署名簿の縦覧に関する要綱の作成、選挙管理委員会の独立性や中立性の確保といった観点からの検証も必要であると考ええる。選管の見解について委員長に伺う。
- (3) 第5回町議会解散請求に関する調査特別委員会で報告のあった文書で事務処理に不備があったことを認めている。同文書では、住民投票の費用として289万7,813円の予算支出があったことが明らかになった。事務処理の不備によって予算を浪費した責任についてはどのように考えているのか伺う。

通 告 要 旨	備 考
1. 地域の環境整備について 6月の議会報告会に出席頂いた方から、地域が抱える様々な課題について、直接話を伺うことができた。 その中でも多く聞かれたのが、環境整備についてである。 特に除草作業などで、地域の皆さんに「これまでやってきたから、これからもお願いします」とお願いするだけでは、限界があるのではないだろうか。 以下について伺う。 (1) 人口減少・高齢化が進む中、現在、地域が担っている除草作業などについて、町は今後どのように解決し、住み良いまちづくりを目指していくのか伺う。 (2) 今後、地域だけでは対応できなくなることを見据え、町として除草作業など環境整備の支援や、町による対応の拡充を考えるべきではないか、町の見解を伺う。 (3) 側溝や路肩などの除草が安全に作業できるよう、道路環境そのものを整備すべきと考えるが、町の見解を伺う。	一問一答方式
2. 学校給食無償化の公平性について 令和8年4月から、国の交付金を活用した学校給食費の負担軽減措置助成が始まった。しかしながら、不登校や食物アレルギー、宗教上の理由など、やむを得ない事情により給食を食べることができない児童は、現時点で無償化の恩恵を受けていない。 (1) 本町では、現在、給食を食べることができない児童・生徒は何名いるのか、また、その理由について伺う。 (2) 給食を食べることができない児童・生徒については、来年度から給食費相当額を給付する予定と伺っているが、国の交付金は、現在、小学生対象となっており、その場合、中学生は給付対象外となるのか伺う。 (3) 「心のケアハウス」通学者で給食希望者がいた場合の対応について伺う。	

通 告 要 旨	備 考
1. 旧櫻井邸の活用方法は 旧櫻井邸はこれまでなんの変化もない。考えられるのは一つに母屋・作業場を解体し、その用地を住宅用地として造成し分譲すること。二つ目に公費を使ってリフォームし、誰かに募集をかけて売るか貸すかである。三つ目に今でも募集していると思うが、今の状態で買ってもらう方法がある。その他に考えられる事があれば、どのような方法があるか町長の所見を伺う。	一問一答方式
2. かわまちづくり事業について (1) レジリエンススペースの活用方法は、どのように考えているのか。 (2) 河川敷の活用方法は。これまで1年以上もなんの報告もないが、なんの変更もないのか伺う。 (3) かわまちづくり事業の経費は、調査や設計を整った段階で報告とのことだが、報告がないということは、なにも進んでいないのか伺う。	
3. スーパーマーケット誘致について (1) 企業とどこまで話し合いが進んでいるのか伺う。 (2) 移動販売は買い物弱者にとっては有効な買い物手段であるが、これもどこまで進んでいるのか伺う。	

通 告 要 旨	備 考
1. デンワカードシステムの導入について 大郷中学校にて、今年3月末で公衆電話が撤去され、生徒が自宅へ連絡する際に、不都合が生じている。これを打開するために、公衆電話の代替として「デンワカードシステム」を導入することにより、生徒が利用しやすくなると考える。前向きに導入されてみては。	一問一答方式
2. 町長選挙公約について 選挙公約の中から、以下の2点について進捗状況および具体的な達成時期について伺う。 (1) 学習塾の進捗状況および具体的な時期について伺う。 (2) スーパーマーケット誘致の進捗状況および具体的な時期について伺う。	
3. 旧大松沢小学校体育館の雨漏り 設計から施工と慎重に審議したものの、雨漏りが発生している現状について、設計および施工において、雨漏りに対する保証ならびに、今後の体育館の具体的な修繕（建て替えも含む）について所見を伺う。	

通 告 要 旨	備 考
1. スポーツX誘致に関する責任は ベンチャー企業であるスポーツX社を誘致すべきと議案提案が否決、再度議案提案を行うが再度否決。 町が中学生を含む住民アンケート調査を行い更に、議会解散を図るべき署名運動がおこり、住民投票を執行した。 議会議員9人が不正と判断を行い、議会議員3名が令和7年3月18日、仙台地方裁判所に提訴、後に裁判より住民投票の停止命令が下された。 審議が始まり1年後の令和8年2月25日判決、議会議員が勝訴。全国でも話題となり、町では町民同士の対立も生まれた。 以下について伺う。 (1) 裁判所から町が敗訴との判決が出た。町を混乱させた責任は誰が取るのか伺う。 (2) スポーツX社誘致に関する費用について、どれくらいの経費となったのか伺う。 (3) 選挙管理委員会の委員長及び委員の方々は継続か辞任するのか伺う。	一問一答方式

通 告 要 旨	備 考
1. 本町の防災について 昨今、各地において災害が発生している。 特に 7 月 28 日に発災した熊本県宇城市と氷川町では最大震度 7 を観測する地震が発生し、激甚災害の指定となった。その事を受けて本町の防災体制について下記 3 点について伺う。 (1) 災害発生時の災害対策拠点および災害支援拠点としての防災「道の駅おおさと」の早期実現について伺う。 (2) 防災士育成と組織化は進んでいるのか伺う。 (3) 各地区の自主防災組織体制について伺う。	一問一答方式
2. 前川地区の基盤整備再編入について伺う 今までの経過として、ステップ 1 の 60 h a の地権者の同意を得てステップ 2 の関係機関との協議に入っていると思うが、その後の状況について以下の点について伺う。 (1) 関係機関との協議の内容について伺う。 (2) 「前川地区 (300 h a) の権利者様のご意向の確認」とあるが意向確認によっては再編入出来ない事もあり得るのか伺う。	

通 告 要 旨	備 考
1. 本町の戦略人口について 本町では将来展望人口を 2035 年に 7,000 人、2045 年に 6,300 人、2065 年に 5,400 人と設定するとともに、人口構造の若返りを目指している。 以下について伺う。 (1) 2030 年の合計特殊出生率 1.6 を目標としているが、達成に向け現在と今後の取組みを伺う。 (2) 10 歳代後半～40 歳代の就労の希望を実現できる雇用環境を創出するため、現在と今後の取組みを伺う。 (3) 移住定住を促進するための宅地開発やアパート整備、空き家等の活用について、現在と今後の取組みを伺う。	一問一答方式
2. ふるさと納税について 令和 7 年度の全国実績は、受入額で約 1 兆 3,314 億円、受入件数は約 5,963 万件であったが、前年比は微増であった。また、本来の趣旨から外れた「過度な返礼品競争」やポータルサイトへの多額の手数料などが問題視されている。 以下について伺う。 (1) 本町の令和 7 年度の受入額と流出額を伺う。 (2) 道の駅の商品を返礼品とし、現地決済を行うことはできないのか。	